



S6b から MDN を取得する

- [変更された機能 \(1 ページ\)](#)
- [コマンドの変更 \(2 ページ\)](#)
- [パフォーマンス指標の変更 \(2 ページ\)](#)

変更された機能

現在の実装では、最初のアタッチの際に、P-GW は、モバイルディレクトリ番号 (MDN) またはモバイルステーション国際サブスクライバディレクトリ番号 (MSISDN) を S6b インターフェイスから選択します。その後、コールが P-GW から eHRPD/信頼 Wi-Fi/非信頼 Wi-Fi などの他のサービスにハンドオフされるか、これらのサービスから P-GW へのハンドオフが実行されると、セッション作成 (CS) 要求から MDN/MSISDN が選択され、S6b で承認された MDN/MSISDN が失われます。その結果、異なる値の MDN/MSISDN が Rf レコードで送信されます。通常、オペレータは MDN を使用してサブスクライバに請求するため、収益の損失が発生します。

この機能では、最初のアタッチの際に、また P-GW と eHRPD/信頼 Wi-Fi/非信頼 Wi-Fi 間のハンドオフでも、S6b インターフェイスまたは CS 要求からの MDN/MSISDN 値が保持されます。MDN/MSISDN の値は、コールの有効期間中は変更されません。そのため、セッションのすべての Rf レコードには同じ MDN/MSISDN の値が含まれます。

新しいキーワード **retain-mdn** が CLI コマンド **authorize-with-hss** に追加されました。この CLI コマンドキーワードを設定すると、MDN/MSISDN 値が保持されます。この CLI コマンドキーワードが設定されていない場合、MDN/MSISDN 値は S6b インターフェイスから受信されません。この場合、CS 要求で受信した MDN/MSISDN の値が使用されます。



重要 この機能は、GnGp ハンドオフには適用されません。

以前の動作 : P-GW と eHRPD/信頼/非信頼 Wi-Fi などのサービス間のハンドオフ中に、MSISDN の値が上書きされました。

新しい動作 : MSISDN の値がコールの存続期間中保持されます。この期間には P-GW と eHRPD/信頼/非信頼 Wi-Fi などのサービスとのハンドオフが含まれます。

コマンドの変更

retain-mdn

S6b インターフェイスからの、またはセッション作成要求からの MDN/MSISDN 値を保持するために、この CLI コマンドのキーワードが追加されました。

ハンドオフ手順の実行中にこの CLI コマンドが無効になった場合、MDN/MSISDN 値は保持されません。たとえば、次の CLI コマンドが設定され、MDN/MSISDN 値が S6b によって許可されている場合、同じ値がコールに使用されます。ただし、ハンドオフ前に CLI コマンドが無効になっている場合は、セッション作成要求で受信した MDN/MSISDN 値が使用されます。この値は、初期接続中に S6b インターフェイスから受信した値とは異なる場合があります。

この CLI コマンドが設定されていない場合、MDN/MSISDN 値は S6b インターフェイスから受信されません。この場合、セッション作成 (CS) 要求で受信した MDN/MSISDN 値が使用されます。

```
configure
  context context_name
    pgw-service service_name
      authorize-with-hss retain-mdn
      { no | default } authorize-with-hss
    end
```

注：

- **no:** 初期接続またはハンドオフ後に S6b 承認を無効にします。
- **default: authorize-with-hss** のデフォルト設定を設定します。初期接続中にこれが S6b から受信されると、ハンドオフ後に MDN を強制しません。
- **authorize-with-hss:** S6b Diameter インターフェイス上でのホームサブスクライバサーバー (HSS) を介したサブスクライバセッション許可を有効または無効にします。
- **retain-mdn:** コールの存続期間中 (ハンドオフを含む)、コールのセットアップ時にネゴシエートされた値 (S6b で取得した MDN または CS Request の MDN) で MSISDN/MDN 値が保持されることを有効化します。

パフォーマンス指標の変更

show pgw-service all

このコマンドを実行すると、次の出力が表示されます。

```
S6b IPv6 Reporting:      Disabled
Retain MDN :             Enabled
```

show pgw-service name <service_name>

このコマンドを実行すると、次の出力が表示されます。

```
S6b IPv6 Reporting:      Disabled
Retain MDN :             Enabled
```

show pgw-service name <service_name>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。